

EA991CR-10(オイルポンプ[エア-手動兼用])取扱説明書

この度は当商品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
ご使用に際しましては取扱説明書をよくお読み頂きますようお願いいたします。



注意: 事故、けが等を未然に防ぐ為に、ご使用前に必ず読み、理解し、厳守して下さい。

- ・ 機器に異常はないか、確認して下さい。
- ・ 作業工具は注意深く手入れをして下さい。
エア-ホース、接続部等は損傷していないか、その他定期的に点検して下さい。
ハンドルは常に乾かし、きれいな状態を保って下さい。
- ・ 次の場合はバルブを閉め、エア-ホースを外して下さい。
機器を取り付ける時。
作業終了時。
異常を感じた時。
- ・ エア-工具を使用する時は、取扱方法、作業方法、周りの状況を十分に把握して、慎重に作業して下さい。
- ・ 作業前に、可動部の位置、取付け状態、その他運転の影響を及ぼす全ての箇所に異常や損傷がないか確認してください。

○騒音について

ご使用中、周囲に迷惑を掛けないよう、各都道府県等で定める騒音規則値以下で使用して下さい。
必要に応じて、防音壁等で遮音処置をとって下さい。

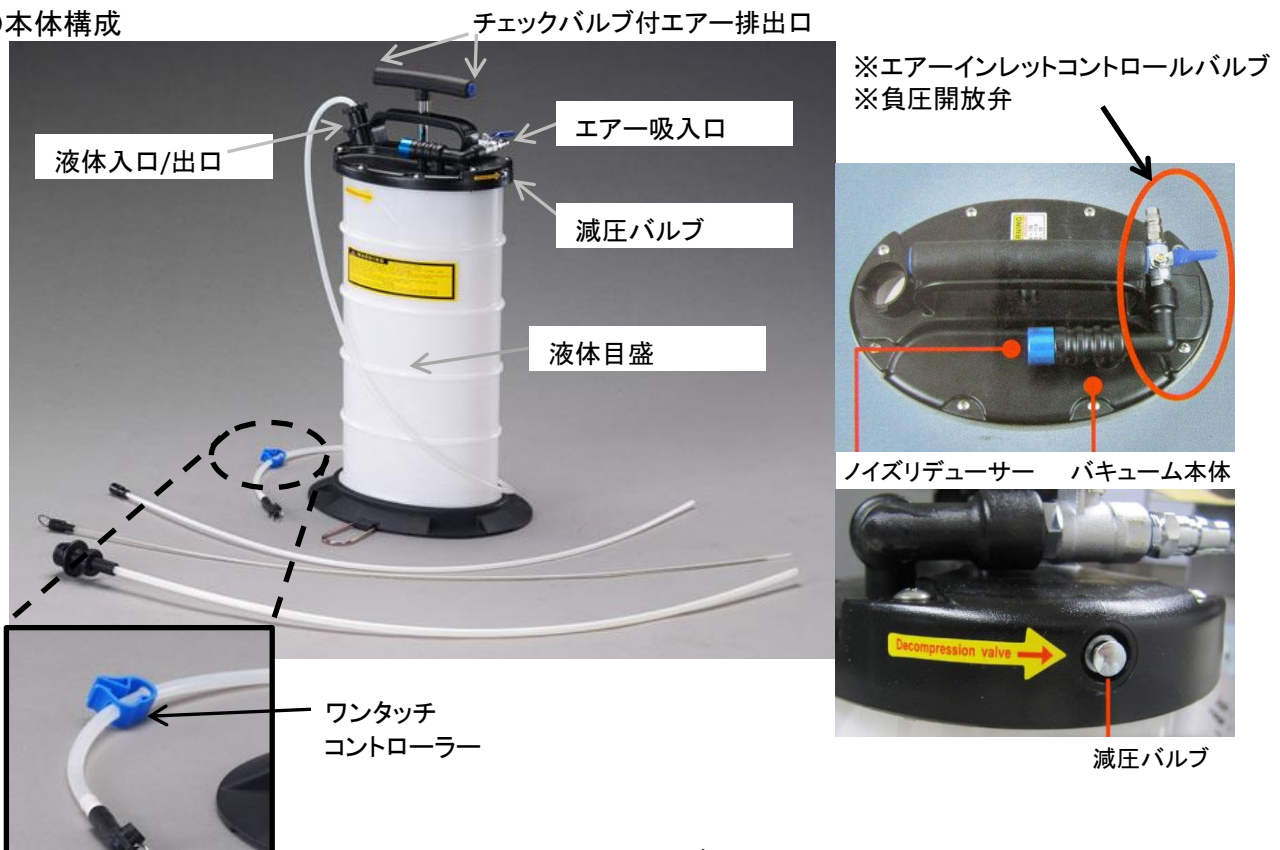
○仕様

- 容量…9.5L
- 使用空気圧…0.28~1.17MPa
- 平均流量…57L/min
- 液体温度範囲…1~95°C
- サイズ…335(W) × 260(D) × 585(H) mm
- 重量…3.75kg
- 付属品…
シリコンチューブ(外径: 8mm、内径: 4mm、長さ: 1.5m) × 1本、
ナイロンホース(外径: 9.8mm、内径: 7.8mm、長さ: 1m) × 1本、
ナイロンホース(外径: 6.7mm、内径: 5.3mm、長さ: 1m) × 1本、
ナイロンホース(外径: 4.5mm、内径: 3.5mm、長さ: 1m) × 1本

○特長

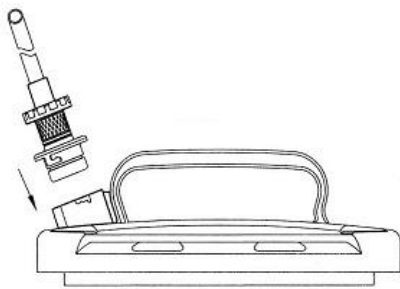
- 空圧吸入なので、火花が発生しません。
- エンジンオイル、ギアオイル、ブレーキオイル、水などに。
- 負圧を開放する減圧バルブ付。
- ノイズリデューサー付。
- エア-、手動の両方で使えるオイルポンプ。

○本体構成



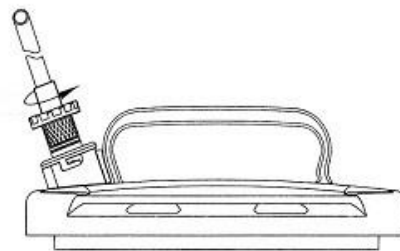
○ホースの接続方法

1、ソケットを液体入口/出口に差し込みます。



(1)

2、反時計回りにソケットを回し、固定します。

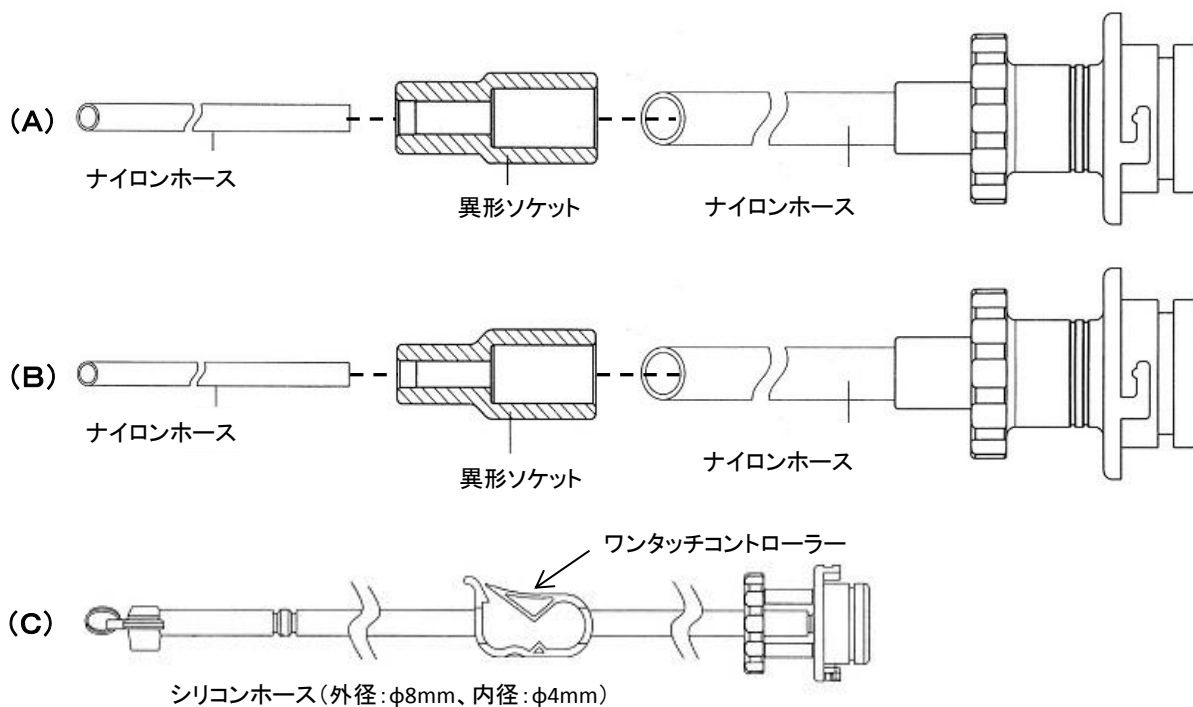


(2)

・ホースの組み合わせ

下記のようにホースを異形ソケットで接続し、必要なサイズに調整できます。

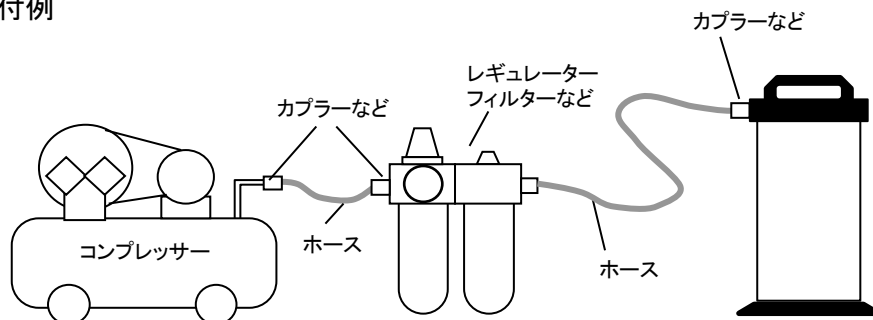
(A) 外径φ 6.7mmのホースに接続、(B) 外径φ 4.5mmのホースに接続、(C) プレーキ/クラッチ吸引ホース



○使用方法(エアークンプレッサー使用)

- 1、カプラーソケット(1/2")付のエアークンプレッサーやエアークンプレッサーからの延長ホースに本機のプラグを接続してください。
- 2、エアークンプレッサーを動作する前には、必ずバルブを閉じた状態にしてください。
- 3、対象に合わせて(A)～(C)のホースを選んで接続してください。
- 4、対象物にホースを接続、または入れて、エアークンプレッサーを動作させてください。バルブを開けて液体を吸い出してください。吸出し終わったら、バルブを閉じてください。
※本体に記されている液体流入限界線以上に液体を入れないでください。

○取付例



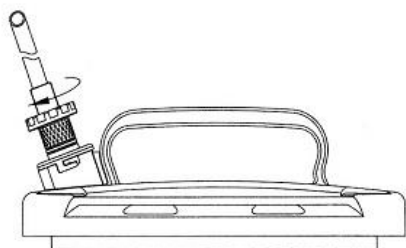
○ 使用方法(ハンドポンプ使用)

- 1、ポンプで動作する場合には、必ずバルブを閉じた状態にしてください。
- 2、対象に合わせて(A)～(C)のホースを選んで接続してください。
- 3、対象物にホースを接続、または入れて、ハンドルを上下してポンピングしてください。
※本体に記されている液体流入限界線以上に液体を入れないでください。

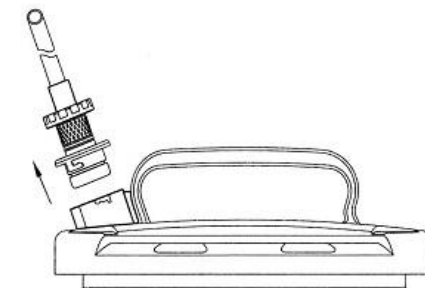


○ホースの取り外し

- 1、時計回りにソケットを回し、ロックを開放します。



(1)



(2)

- 2、ソケットを液体入口/出口から取り外します。

○ 本体の液体排出上の注意

- ・ 液体流入限界線以上に液体を入れないでください。
- ・ 液体を排出するときは、ゆっくり液体流入限界線を越えないように本体を傾けてください。また、本体を逆さまにしないでください。液体が安全バルブから漏れ出します。

